

あじさい支援だより 第6号 2014.4



長崎県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体



公益社団法人 長崎犯罪被害者支援センター



ことばと出会い・ 人間関係について思うこと

副理事長

前田 和明 (臨床心理士)

毎日の生活の中で、私たちは誰かのことばをかわさずにはられません。ことばというものは不思議なもので、人間だけが持つ便利でやっかいな道具だと思えます。いうまでもなく、ことばは自分と相手がいないと成立しません。インターネットやスマートフォン全盛の現代においては、目の前にいない誰かでもことばをかわしてみたくなるものです。ことばの使用は、自分と相手の出会いを意味します。

相手への「がまん」と自己主張のバランスを取りながら、私たちは生きています。時に、自分の発することばがナイフのように人を傷つけますし、反対に追い込まれた状況での誰かのことばが、何よりの救いを感じられることもあるのです。

人間は「感情の動物である」と表現されることもあります。感情を言葉にするか、行動にするかで、人間関係が大きく左右されるようです。犯罪被害者は加害者から感情をことばにすることなく、いきなり行動でぶつけられたケースが多いように感じます。これは心の準備ができてない出会いであり、最悪の人間関係であると思えます。

毎日の報道をながめると、このような感情の行動化とでもいうべき事件の多さに暗澹たる気持ちになります。

また、日本では、自殺者が交通事故死亡者の数を上回っているという事実にも、ただ驚くばかりです。

苦しい時こそ、その感情を言葉にして、誰かに伝えてみるのが、感情の整理や何らかの解決の糸口になることもありそうです。

ことばと出会い・人間関係は避けることはできません。私を含めて、事件や犯罪被害ということも、決して自分にはふりかからないとはいいきれません。

どうか、みなさん、ニュースに接しながら悲惨な人ごとだと思わないでください。「もし、自分が被害者の立場だったら」と考えてみてください。

私たち犯罪被害者支援センターのスタッフも、相談や支援でのことばを大切にしながら、少しでも犯罪被害者の立ち直りに、おつきあいをさせていただきたいと思っています。

電話
相談



(095)-820-4977

毎週月曜日～金曜日 / 10:00～16:00

秘密厳守
相談料無料

面接相談：電話相談の上、予約が必要となります。必要に応じて弁護士・臨床心理士の面接相談も行います。

平成25年度 長崎犯罪被害者支援センター特別講演事業

犯罪被害者やその遺族の心に寄り添うための『特別講演会』と『ハンドベルコンサート』

～被害者も加害者も生まない明るい未来の実現のために～

平成26年2月9日(日)長崎市筑後町「セントヒル長崎」で「みのり園ハンドベルクワイア」と暴力団員による人違い銃殺事件被害者家族「宮元篤紀さん」をお招きして、特別講演事業を開催しました。

第1部では福祉型障害児入所施設「みのり園ハンドベルクワイア」28名による「ウィリアムテル序曲」など5曲が演奏され、第2部では「犯罪被害に遭って、今、思うこと」と題して宮元篤紀さんによる講演が行われました。

式次第

- 1 開会
- 2 主催者挨拶
- 3 来賓挨拶
 - (1)長崎県交通・地域安全課長
 - (2)警察本部犯罪被害者支援室長
- 4 ハンドベルコンサート
- 5 特別講演

特別講演

講師：宮元 篤紀 氏

プロフィール

平成19年11月、夫(当時34歳)が理不尽な犯罪の犠牲者となり亡くなった。自らの辛い経験乗り越え、同じ様な辛い思いをしている被害者や遺族の力になりたいという強い思いから被害者支援活動に参加し、全国で活発な講演活動を行っている。
現在、「被害者支援ネットワーク佐賀 VOISS」の活動に参加し、被害者支援に携わっている。



ハンドベルコンサート

奏者：みのり園ハンドベルクワイア



プロフィール

昭和58年、音楽療法の一環としてハンドベルの活動開始。
ハンドベルクワイアは、小学校1年生から高校3年生までの計28名で構成され、年5回、コンサートを開催するなど、活発な活動をしている。
その音色は、まさに聴く人の心に深く染みわたる魅力があるので好評を博している。
今回は、「翼を下さい」、「ハナミズキ」など全5曲を披露する。



宮元篤紀さん 講演要旨

怪我で入院中の夫を人違いで銃殺され、もう6年が経ちました。人前で話す機会も何度目かになりますが慣れることはなく、緊張して途中、言葉に詰まったり、回想して涙がとまらなくなりますが、「私が、伝えたいこと。夫の願いが皆様に届きますように」と心を込めてお話しをしたいと思います。

私には男の子が2人おり、現在は中学3年生と高校1年生です。事件は子供達が小学校3年生、4年生の時に起こりました。当日、子供たちは登校し、私は病院に行こうと身支度をしているとき、電話があり、病院に駆けつけましたが、夫の最後には間に合いませんでした。

私は、夫が亡くなったことを二人の子供たちがどう受け止めるか一番心配で「子供達が知ったら壊れてしまうのではないかと気が気ではなく「自分の事より、子供を守らなければならない」と思い、直ぐにでも子供たちのところに行きたかったのですが、警察からは犯人を捕まえるための事情聴取を受けるため長い時間がかかると言われ、覚悟を決め、学校には「事件のことは、私の口から伝えたいので言わないで下さい。今日1日だけは普通の小学生として過ごさせてやりたい」とお願いしました。

(中 略)

刑事さんから、「貴方の旦那さんは午前8時20分、二階の病室で亡くなっています。本人確認をお願いしますと言われ病室に行き確認をしましたがその後の記憶がいったん飛んで気が付くと車椅子に乗っていました。

(中 略)

私達家族は、捜査の関係で夫に近づくことは出来ませんでした。何か感覚が麻痺したような感じになっており「そうなんですね」と思うだけでした。

その日の捜査がすべて終わったのは夕方の4時過ぎでした。警察の方から夫がまもなく司法解剖に向かうが、その前に会うことができると言われ、家族には申し訳なかったのですが私だけ合わせてもらいました。

夫は満面の笑顔を浮かべていました。おそらく、辛い表情をしていたら家族が悲しむと最後の力を振り絞り笑顔を作ったのだと思います。夫はそういう人でした。

やるせない気持で涙が溢れ、涙が夫の顔に落ちたので、その涙を拭き取ろうと、そうっと夫の顔に触れたとき、氷のように冷たく、本当に死んでしまった、もう二度と生き返らない、夫と話すことも出来ない絶望的な気持になりました。

(中 略)

夕方、自宅に戻ると子供達は既に夫の事を聞いていました。玄関に入ると2人は目を真っ赤にし、手にはグローブをはめていたので「どこ行くと」と尋ねると「お父さんのために野球の練習をする」と外に出ようとするのを引き止め、できるだけ詳しく2人に話しました。次男は「本当にお父さんは死んでしまったと？」と大粒の涙を流し、大声で泣き、長男は「怪我を治すために病院におったとに、何で殺されんばいかんとさ？」と身体を小さく震えさせ、声を殺して泣いていました。私は「力を振り絞って、これからは家族みんなで力を合わせて乗り越えていこうね。あなた達のことはお母さんが

絶対守るから」と話しました。

夫の亡骸を迎えた深夜、夫の傍にいられるのは僅かな時間しかない、夫の隣に布団を敷いて一緒に寝ることにしました。横になって夫の手に触れたら、冷たい手がそこにありました。寝ることなく手を繋いで横になっていると別部屋で寝かせておいた長男が入って来たので「お父さんの手を握ってもいいよ。もう最後だからね」と声をかけると、夫の布団に入り込んで、身体や頬をなでながら「お父さん、お父さん」と小さな声で呼びかけていました。そうしていると次男も布団に入り、2人は夫の冷たい身体が温まるほど傍にいて「まるで生き返ったみたいに暖まったね」と話しながら寄り添って一夜を過ごしました。

あれから6年が経ちました。幼かった2人の子供達は揃って来年の春から高校生です。夫の事件のことを風化しているという人がいますが風化するほど世の中が平和であるようにも願っています。私が伝えていきたいのは起こった事件の悲惨さではなく、犯人に対する憎しみでもなく、失われた命をどれだけ大事に思うかということです。そして、今をとっても大切に生きていくということです。

(中 略)

人はどういう時に生き方を変える必要があるかという、後悔や悲しみ、苦しみの感情に溺れそうになった時、変わる必要があると明確に思えるのではないのでしょうか。

裁判や知らない人のあらぬ噂話を聞くと悲しい気持ちになりましたが私達の周りには、実家の父母、親戚、ご近所の方、警察の方、報道の方々など温かく大きな器で受け止め、見守ってくれる人が沢山いました。だから、「明日は今日よりももうちょっとだけ元気になろう」と頑張ってきました。

事件があって、自分が欲しい物、必要な物、守るべき存在など全部知りました。知ったけど取り戻せなかったものもありました。起こった事件、夫を失ったことは本当に残念なことでしたが夫は本当に素敵な人だったので、こんな辛い別れをしても、やはり出会った喜びの方が大きいから短い時間でも一緒に過ごせたことを心から幸せに思っています。

私は、これまで何度か中学生向けに命の大切さを話してきましたが、子供達にはなしていることは「あなたのことをいつも大事に思っていることを忘れないで欲しい」ということと「二度と来ない命をたくさんの仲間と一緒に過ごしているのだから、お互いが一生懸命、丁寧に過ごして」という事を言っています。

人の気持ちは目には見えません。今日家に帰ったら、大切な人に「私があなたを大事にしているとちゃんとわかっているよね」と確認してみてください。更に、「ありがとう、ごめんね、よく頑張ったね、お疲れ様」と面と向かって言ってあげてください。

言葉にして伝えたら、言えた自分にホッとします。私達は二度と来ない今を生きているんです。何てことない一日でも素晴らしい何かに通じています。

皆さんの命にも限りがあります。どうか過ぎ去っていく前に、今の素晴らしさにどうか気が付いて下さい。そして大人である私達も大切な家族と仲間と「一生懸命」と「丁寧」で過ごしますように。私の話はこれで終わります。どうもありがとうございました。

広報・啓発活動写真



県警プロムナードコンサート (毎月)



暴力追放「いのちを守る」市民集会 (4月20日)



県警定期演奏会 (3月1日)



大村競艇場 オーロラビジョン (10月～12月)



JR列車中吊り広告 (12月～3月)



長崎新聞掲載 (1月17日)



県内情報誌「HOT PEPPER」 (10月～3月)

その他 KTN、NBCテレビスポット (1月～3月)、FM長崎ラジオ収録 (3月26日放送)

平成 25 年度事業報告

■会議・研修会等

総会	1回	被害者支援員養成講座	11回
理事会	3回	自助グループ開催	12回
運営委員会	11回	研修会等	11回
出張講義、講演	59回	九州ブロック研修会	1回

■相談・支援等

相談・支援別件数		直接支援		被害類型	
電話相談	97	裁判傍聴	1	殺人・傷害致死	25
面接相談	29	弁護士相談	7	暴行・傷害	12
直接支援	22	カウンセリング受診	4	交通事故	18
自助組織支援	12	就労・生活支援	3	性被害	18
計	160	自宅訪問	5	DV・ストーカー	6
		その他	2	財産被害	14
		計	22	その他	55
				計	148

■中学・高校生を対象とした巡回講演事業

実施校

高等学校	中学校	大学	合計	受講者数
6	13	1	20	4,819

講師

被害者家族	臨床心理士	被害者支援センター職員	その他
6	5	7	2

■学校以外での講演活動

実施場所

刑務所	少年院	警察関係	その他	合計	受講者数
17	7	12	3	39	1,152

講師

被害者家族	臨床心理士	大学教授	被害者支援センター職員
13	2	4	20

中学生・高校生を対象とした「心と命の大切さ」を培う巡回講演事業

目的	人権教育の一環として、心と命の大切さや被害者が受けた様々な痛み等について、講演を通じて生徒等に理解を深めさせることを目的としています。
講師	被害者やその遺族・家族、臨床心理士、弁護士、大学教授等
講演内容	心と命の大切さ、いじめ、暴力のない社会の必要性及び被害者等の人権や一人一人の人間を大切にすることを学び探求する講演です。
申込要領	講演希望の学校にあっては、電話又はFAXで申し込みをしてください。
講演費用	無料（費用はすべて長崎犯罪被害者支援センターで負担しますので、学校側等の負担は一切ありません。）

● ● ● ● ● 被害者支援自動販売機設置箇所 ● ● ● ● ●

センターでは、被害者支援活動の充実を図るため、活動資金確保の一環として皆様のご協力により清涼飲料水等を販売する支援自動販売機を県下に設置しております。

今後とも、ご支援よろしくお願いたします。

企業・団体名等
九州文化学園 長崎短期大学
和山(株)
吉田海運(株)本社
大坪建設(株)
(有)共和タクシー
(有)オートテイク
アウトレットショップ「ラビット」
浦上自動車学校
あたご自動車学校
(株)親和銀行 本店
(株)親和銀行 長崎営業部
(株)親和銀行 浜田町支店
(株)親和銀行 佐世保支店
(株)親和銀行 東長崎支店
(有)江崎産業 フェリー乗り場 2台
昭和タクシー(有)
(有)安全タクシー
(株)みらい長崎
島原鉄道(株)
早岐地区自家用自動車協会
J A 島原雲仙愛野支店 選果場
J A 島原雲仙愛野支店 農機具場
松浦市市民運動公園
松浦市星鹿公民館
長崎市香焼総合運動公園
西そのぎ商工会
白山陶器(株)
ネックス県北衛生社
富士国際ホテル
(株)天和産業
長崎自動車(株)
下田商事(株)
道の駅みずなし本陣 ふかえ
医療法人博愛会 哲翁病院
針尾江上地区防犯パトロール
(株)吉本ハイテック
(有)日興防錆鋳業

企業・団体名等
タイヤセンター サン سبا
(株)琴花園
カーピカランド 福江
松浦市魚市協会
佐世保卸団地協同組合
(株)テクノ西海物流センター
(有)オートサービスふじい
(株)JPビジネスサービス 1階ロビー
(株)JPビジネスサービス 従業員寮前
(有)平和スポーツ雑貨探偵団
(有)カワハラ住宅産業
東海化学工業(株)
西肥自動車学校
(株)松葉屋吉井店
クルス本舗 (小浜食糧)
九州電力(株)
壱岐消防署 勝本支所
壱岐消防署 志原支署
(株)十八銀行 本店
(社)長崎県自動車整備振興会 2台
(有)平村自動車
医療法人社団壮志会 押淵病院
長崎南部生産組合 大地の恵
(株)システック井上
(株)メモリード
(有)リッチ
柴崎建設(株)
アダチ産業(株)
西部ガスリアルライフ長崎(株)
(株)太田商店
(株)壱岐カントリー倶楽部
対馬農業振興公社 そば道場
茶話の里
(有)タカ産業 御嶽公園前
(有)ダイイチ機設工業
飛翔館

長崎犯罪被害者支援センターの運営を支えてくださる皆様 ～心より感謝申し上げます～

平成25年度 正会員、賛助会員および寄付者 一覧 【平成25年4月1日～平成26年3月31日現在】

(芳名掲載を了承して頂いた個人、団体のみを掲載させて頂きました。記載漏れ・誤字脱字の不備がございましたら、お許しください。敬省略・順不同)

〈正 会 員〉

大塚 俊弘
小栗万里子
川添 志
北爪 宏明
清野 直之
塩飽 志郎
谷口 栄子
中野 明人
永田 吉朗
本田 龍一
前田 和明
宮原 福子
山中 義雄
医療法人伴師会
愛野記念病院
(南)オートチャーム
代表取締役 宇都 孝志
(株)チョープロ

〈賛助会員・個人〉

秋山 久典
浅井 敏
阿部 利雄
新 辰也
有馬 理
飯田 直樹
石見屋 力
井石 哲哉
井出 理恵
井手 拓也
伊藤 京衛
井上 博史
井上 恵梨
今泉 順子
今井 忠之
岩永眞智子
岩永 敏博
後田 陽子
梅本 國和
榎並 茂則

大坪 義昌
緒方 暁子
小川 正幸
尾下 進
小野由利子
鍵原 行雄
金子 博行
金子 寛道
北 禮郎
木下健太郎
木村 幹史
栗原 寿男
小泉 朋子
小林亜紀子
相良 勝美
佐田 英二
佐藤 敬弘
塩塚 節夫
清水 康寛
下山 高生

重橋 照久
鈴木 弘之
外尾 明利
隆杉 正和
高田 英敏
高比良芳紀
田坂 章吾
多良 博明
戸田 久嗣
内藤 義英
中川 恵子
長岡 珠喜
中川外科医院
西井 秀和
西村 康治
法人 佳朋
馬場 正裕
濱田 博之
濱口 純吾
林医院
平山由美子
深山 和子
福田 寿二

藤間富公衛
前田 博
増田恵似子
松崎 正樹
松尾 恵子
松尾 整子
松尾 千秋
三浦 晋
宮田 昭史
三宅 敬英
宮村 庸剛
三好 徳明
牟田 幹久
森 誠司
森永 正
八木 義明
山口 正広
山下 雄一
山中 修二
湯川 優子
横田 実
吉田 哲朗
吉本 正彦

〈賛助会員・団体〉

常在寺住職 合川 天心
医療法人 愛健会
秋山眼科クリニック
(株)荒戸産業
諫早市警察官友の会
諫早市暴力追放運動推進協議会
諫早商工会議所
石井 精二
司法書士 一瀬 一徳
学校法人岩永学園 こころ医療福祉
専門学校プロフェッショナルカレッジ
植木 博路
(株)ウエノ安全協議会
魚住 昭三
梅本 義信
浦上地区金融機関防犯協会
浦上地区職域生活安全協議会
雲仙市警察官友の会
大浦地区金融機関防犯協会
(南)オートサービス ふじい
大西 由紀子

弁護士法人大村綜合法律事務所
小野 靖彦
医療法人医理会 柿添病院
梶村 龍太
川島 陽介
川棚地区警察官友の会
医療法人誠医会 川富内科医院
喜多内科医院
きたやま泌尿器科医院
(株)橋高
九州商船(株)
九州液化瓦斯福島基地(株)
國弘 達夫
医療法人社団創平会 くりや内科医院
(株)クリーンマット
栗原 賢太郎
医療法人社団 健昌会
五島ライオンズクラブ
一般社団法人 五島市交通安全協会
古原 進
西部ガス(株)長崎支社・佐世保支店
西部ガス(株)長崎支社
(株)西海建設

西海地区警察官友の会
佐世保卸団地協同組合
佐世保市警察官友の会
佐世保市タクシー協会
医療法人 七久会
医療法人協生会 品川病院
NPO法人障がい者後見・支援センター
「あんしん家族」
医療法人 仁陽会
すずき矯正歯科
学校法人 青雲学園
千住博内科
社会福祉法人 善友会
高尾 實
医療法人社団 高村内科医院
高原内科循環器科医院
宝マタニティクリニック
たがわ内科
田中 亮
(株)谷川建設
チョーコー醤油(株)
(株)テイクオフ
(南)トーワ工業

徳勝 仁
医療法人社団 内科大坪クリニック
永岡 亜也子
医療法人社団 長崎医院
長崎魚市(株)
(株)長崎ガードシステム
一般社団法人 長崎県医師会
一般財団法人 長崎県交通安全協会
一般社団法人 長崎県歯科医師会
長崎県行政書士会 五島支部
長崎市遊技場組合
長崎船舶装備(株)
長崎電気軌道(株)
職業訓練法人 長崎能力開発センター
長崎放送(株)
永田 雅英
中西・加藤法律事務所
中村 尚志
中村 尚達
医療法人 NANO グループ
社会福祉法人 南高愛隣会
西村 広平
にのみや歯科
橋口整形外科医院
波多野 徹
医療法人社団 福江産婦人科医院
福崎 博孝
福田 浩久
(株)平和町駐車場
医療法人 保善会
ホテルニュー長崎
堀江 憲二
牧山内科外科医院
増田整形外科
松尾 茂利
松浦地区警察官友の会
松藤商事(株)
(株)松木美建
(株)丸政水産
(株)まるなか本舗
南島原市交通安全協会
みのり会診療所

(株)メモリード
森本耳鼻咽喉科医院
安永産婦人科医院
山口整形外科医院
山崎医院
山下 誠
山下・川添総合法律事務所
山田眼科
山元 昭則
弥生ヶ丘中口内科医院
吉川建設(株)
(有)サーチ長崎
わかば法律事務所
渡会 祐二
(株)渡邊造船所

〈寄 付〉

愛育小児科医院 田中 司
アイティーアイ(株)
池田整形外科クリニック
諫早西ロータリークラブ
いつの内科消化器科
伊藤 美香
伊藤 京衛
井上産科婦人科 井上 哲朗
浦クリニック 浦 一秀
江越 道生
江良 修
大原 玉瑞
押淵 礼子
金子内科医院
カリタス中央診療所
木下 健太郎
鎌先医院
小林皮膚科医院 小林 亜紀子
坂越 博子
佐世保地区防犯協会
佐田 英二
佐藤医院 佐藤 公泰
白壁外科医院 白壁 勝哉
鈴木 弘之

曾場尾 雅宏
たかかぜ歯科
たかすぎ内科クリニック
宝マタニティクリニック
高田 英敏
高比良 芳紀
口坂 章吾
(有)田中会計事務所
(株)寺尾建設
寺田保育園
社団法人 長崎県警友会連合会
一般財団法人 長崎県警察職員互助会
長崎地区警察官友の会
長崎県交通・地域安全課
長崎県遊技業協同組合
(株)ナガノ
医療法人緑風会 長崎みどり病院
野口歯科医院 野口 道生
長谷川 宏
医療法人 原田医院 原田 知行
日高 太一
福田 浩久
(株)プリマヴェーラ
ホテルニュー長崎
本多 朗
医療法人啓祐会 本多医院
前田 康弘
松崎 正樹
医療法人 松屋眼科医院
松本外科医院 松本 光之
松尾 整子
みちクリニック
南長崎ツダ眼科 津田 尚幸
宮原 章拓
医療法人 みやむら女性のクリニック
宮田 雄吾
村橋歯科診療所 村橋 秀夫
医療法人 もり小児科
山口内科・循環器科 山口 達之
山田 勝也
ラッキー自動車(株)
レディースクリニックしげまつ

賛助会員加入等のご案内

ご賛同いただける新規会員の入会またはご寄附をお待ちしています。

賛助会員について (年度：各年4月から翌年3月まで)		寄付について
個人賛助会員	団体賛助会員 (法人様)	金額の多少にかかわらず、 随時受け付けております。
1口 3,000円/年	1口 10,000円/年	
※1口以上、何口でも結構です。		
振 込 口 座		
郵便口座番号	親和銀行 大波止支店	十八銀行 北支店
01730-8-102986	(普通) 4079739	(普通) 1028158

被害者支援員養成講座受講生（第13期生）募集		
目的	犯罪被害者等を支援するボランティアとして活動できる人材を育成する。	
資格	年齢20歳以上の心身共に健康な方で、講座修了後に電話相談等にボランティアとして月1回以上平日3時間程度従事、また広報活動等へ参加可能な方	
応募方法	募集期間	平成26年4月15日～同年5月20日
	履歴書	1通、写真（写真は顔がわかるスナップ写真でも可）
	課題	テーマ「志望動機並びに犯罪被害者支援について思うこと」 ※400字程度（書式不問）を作成し郵送
	送付先	〒850-0057 長崎県長崎市大黒町3番1号 県交通産業ビル4階 公益社団法人 長崎犯罪被害者支援センター 事務局
事前審査	5月末に第1次審査（書類）を行い、受講生を決定次第個々に連絡します。	
講座	講座期間	平成26年6月から同年11月までの間 （月2回 第2・第4土曜日 概ね13時～16時）
	受講料	無料
問合せ先	長崎県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体 公益社団法人 長崎犯罪被害者支援センター	
	TEL 095-820-4978	

第12期生の感想

R・Nさん

被害者支援として、様々な取り組みがなされ、それぞれの関係者から講座を受け、自分自身も貴重な時間を過ごすことが出来ました。

被害者支援について思うことは、被害者が何を望んでいるかを把握するとともに支援する側も自分の価値観や判断で決めない姿勢を持っていたいと思う。

H・Tさん

講座を受講し、感じたことは「支援員の役割は重い」という思いだった。

被害者の心の傷はそれぞれ違うだろうし、求めているものも違うだろうから、見極めることが大事だと思う。

今の自分に被害者を支えるなどと大それた事はできないが、「あの人に相談してよかった」と思われる存在になれたらと思う。

編集後記

桜が満開になり、一気に春の気配となりましたが、この時期は別れの時でもあります。

別れは、それぞれがいろんな場面で経験しますが、犯罪被害による別れは想像もつきません。今回、そんな想像を絶する別れを経験した犯罪被害者家族の講話（要旨）を掲載しました。会場では講演者、聴講者ともども涙する場面もあり、心にしみる内容でありましたのでご一読して頂ければ幸いです。